

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページも見てください。 www.tomichokyo.or.jp/yo.or.jp
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布しています。

今年は富山市で実施!! 令和8年度県総合防災訓練に参加しよう!

2026年10月10日(日)8:30~12:00、富山市民球場アルペンスタジアムにて実施します。詳しくは次号に掲載します。

防災訓練は、障害者団体の方及び地域の人たちに地震M7を想定して、要配慮者避難所設営訓練、避難支援訓練を体験してもらうために毎年秋に実施するものです。富山障害フォーラム(TDF)、県障害福祉課、富山市障害福祉課が連携して訓練を行います。



富山市聾唖福祉協会、富山市内手話サークルの方々の協力で、避難所にてプラカードに館内放送の内容を書いて、きこえない・きこえにくい人が分かるよう、避難訓練会場を周る伝達訓練を行う予定です。最近、熊本地震、千葉豪雨など災害が相次いでいます。富山でいつ災害が起きるか分かりません。皆さん、災害に備えて防災訓練に参加しましょう。

テープカットで開所を祝う 住宅型有料老人ホーム「手と手のほほえみ」完成!

2026年2月に着工し、7月18日に完成した住宅型有料老人ホーム「手と手のほほえみ」は、7月28日に開所式を行いました。関係者約30人が詰めかけ、本協会理事長の橘勇一さん、町内会長の大島龍二さん、手と手のほほえみ施設長の中橋道紀さんによるテープカットで開所を祝いました。

12年前からNPO法人「大きな手小さな手」が、県内唯一のきこえない・きこえにくい人を対象としたデイサービス事業を運営してきました。しかし利用者の高齢化により在宅生活が難しくなると施設入所するケースが増えてきます。入所先で手話によるコミュニケーションが十分にとれないため、孤立や心身機能の低下が課題となっていました。

こうした状況から、NPO法人は「手話で話せる入所施設」が必要であることを富山県聴覚障害者協会に相談し、施設設置に向けた協議を重ね、NPO法人では諸条件が困難なことから、富山県聴覚障害者協会が建設・運営することを決定し準備を進めました。

「手と手のほほえみ」は、デイサービス「大きな手小さな手」の向かいに建ち、木造2階建てで、居室7室を備え、入所対象はおおむね65歳以上で要支援1から要介護5の認定を受けた人です。

8月1日からは、NPO法人の12年間の実績を引き継ぎ、富山県聴覚障害者協会が、住宅型有料老人ホーム、共生型デイサービス、訪問介護事業を一体的に運営し、支援が必要なきこえない人が安心して暮らせる生活・交流の場をつくっていきます。(次のページに続く)

センター利用の実績

7月21日～8月20日

- 来所者合計約 294名
聴障者約96名、健聴者約198名
- コミュニケーション支援 88件
- ライブラリー貸出 2件6本
- 相談対応 3件
- 部屋貸出 20件

★センター運営募金・募集郵便振替口座;

00790 - 0 - 93002

名称; 富山県聴覚障害者センターを支える会
よろしくをお願いします。